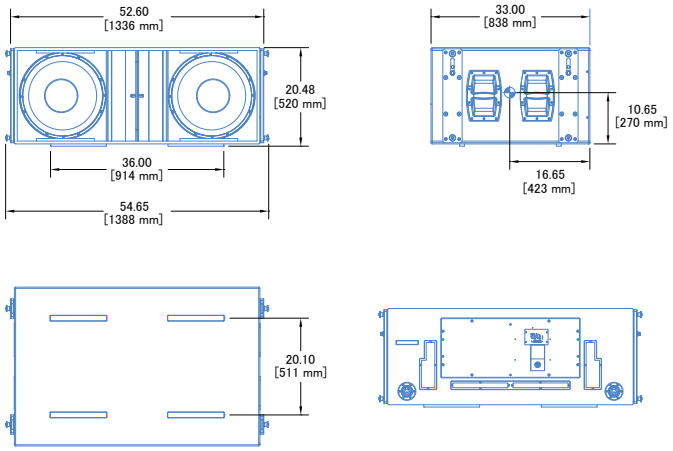
1100-LFC 低周波コントロールエレメント

（オプションのQuickFly®リギングを装着した状態です。）



（リギングバージョンの寸法表示）

1100-LFC低周波コントロールエレメントは、セルフパワー型ラウドスピーカーです。非常に低い歪みで高い連続出力レベル、低周波トランジェントを再現する際の音のリニアリティに特徴づけられます。この極めて低い歪みと、卓越したヘッドルーム、最適化されたリギングオプションにより、1100-LFCは大規模なツアーや 設備のための低域指向性アプリケーションのための柔軟なツールになることができます。

最適なパフォーマンスを保証するために、Meyer SoundのMAPP™システムデザインツールを使用して1100-LFCシステムを設計することをお勧めします。この使いやすいクロスプラットフォームアプリケーションは、1100-LFCシステムの指向性パターン、周波数、インパルス応答、リニアピークSPLを正確に予測し、システムが必要なカバレージとSPLを提供することを保証します。

最適に調整された通気性の良いキャビネットに、18インチのロングエクスカーション・コーン・ドライバーを2個内蔵しています。このラウドスピーカーの28Hzから100Hzの動作周波数帯域は、PANTHER、LEOPARD™、JM-1P、その他のMeyer Soundラウドスピーカーを補完し、ラインアレイやカーブドアレイに滑らかに組み込むことを可能にします。
本製品のパワーアンプは、AC208～235V、50/60Hzの電圧で動作します。TruPower®リミッターにより、ドライバーを最大限に保護し、電力圧縮を最小限に抑えながら、高い連続出力とピークパワー条件でも高い定格出力が得られます。キャビネットの背面にある現場で交換可能な1つのモジュールに、アンプ、制御電子機器、電源が搭載されています。

1100-LFCのキャビネットには、底面に保護用のスキッドがあり、キャビネットの上部スロットにしっかりと固定されます。ユニットは通常スタック可能で、カーディオイド構成では反転させることができます。

Meyer Soundは、特に低速の空気流に最適化するためにキャビネットをチューニングし、通気性を確保しています。

MTG-1100のトップグリッドからスピーカーをフライングするためのオプションのMRK-1100リギングキットは、工場装着オプションまたは現場でのアップグレードを選択可能で、キャプティブGuideALinks™が含まれています。ガイドリンクは、キャビネットの前面と背面に配置され、便利なピン付きハンドルとスロットにより、簡単にセットすることができます。また、GuideALinksは、カーディオイドアレイをフライングするためのリバースユニットにも対応しています。

オプションのMTG-1100トップグリッドから、最大16台のキャビネットからなるラインアレイをセーフティーファクター5:1、BGC V1で吊り下げることができます。オプションのキャスターフレームMCF-1100を使用すれば、1100-LFCを3段積みして安全に移動させることができます。オプションの耐久性の高いナイロン製カバーは、2台または3台の1100-LFCのスタックに対応し、完全な輸送対応を可能にします。

Meyer SoundのRMS™リモートモニタリングシステムは、すべての1100-LFCに標準装備されており、Compass®コントロールソフトウェアが動作するホストコンピューターからRMS™インターフェースを介してシステムパラメーターを総合的にモニタリングすることができます。便利な5ピンXLRコネクターにより、バランスオーディオとRMS信号の両方を伝送するコンポジットケーブルを使用できます（3ピンXLRオーディオコネクターもオプションで用意されています）。

Meyer Soundは、1100-LFCのキャビネットを高級なカンバ材で構成し、わずかに質感のある黒色で仕上げました。音響用ブラックメッシュ付きでパウダーコーティングされた六角打ち抜きスチールグリルは、本体のドライバーを保護します。その他、固定設備や特殊な外観を必要とするアプリケーション向けに、ウェザープロテクションやカスタムカラー仕上げのオプションも用意しています。

利点と特徴

- 低域の明瞭性と極限レベルでの優れたトランジェント再現性を備えた高いピーク出力
- リニアリティにより、あらゆるレベルの様々な構成で、一貫した指向性を持つ低周波出力を確保。
- 低風速に最適化された調整済み、ベント式キャビネット
- レギュラーアレイとカーディオイドアレイでスタックや、フライング可能
- PANTHER、LEOPARD、その他のMeyer Sound製ラウドスピーカーと違和感なく統合可能

アプリケーション

- スタジアム
- アリーナ
- コンサートホール
- 高出力・指向性制御型アレイ

アクセサリーおよび関連製品

MRK-1100 Rigging Kit: MTG-1100グリッドから1100-LFCをフライングするためのキットです。4つのキャプティブGuideALinkと8つのクイックリリースピンが含まれています。

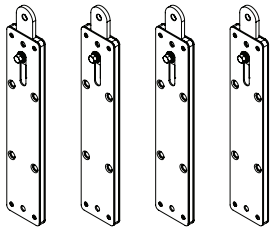
MTG-1100 Top Grid: 一部制約がありますが安全係数5:1、BGV C1で最大16台の1100-LFCをフライング可能、6つのピックアップポイントで様々なピックアップ構成に対応、レーザーや傾斜計向けのブラケットやアダプターを取り付けるためのアタッチメントポイントも装備しています。リギング定格荷重を確認する際は、必ずMAPPを使用してください。

MVP Motor Vee Plate: MTG-LEO-M、MTG-LYON、MTG-1100、MG-LEOPARD/900グリッドに対応し、アレイの水平方向の照準を細かく調整できます。

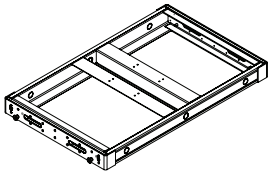
MAS-1100 Array Spacer: 1100-LFCアレイのキャビネット間に配置し、アレイを長くして垂直方向性を強化します。4つのキャプティブGuideALinkと8つのクイックリリースピンが含まれています。

MCF-1100 Caster Frame: 1100-LFCキャビネットを最大3台まで安全に運搬でき、3台単位でのアレイの組み立て・分解が容易に行えます。(MCF-1100はラウドスピーカーに付属のクイックリリースピンで固定するため、クイックリリースピンは付属しません。)

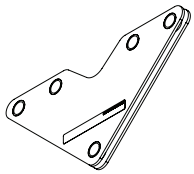
Galileo GALAXY Network Platform: Galileo GALAXY Network Platformは複数の帯域を持つスピーカーシステムに最先端のオーディオコントロール技術を提供します。完璧なサウンドパフォーマンスで、ルームのイコライゼーション補正とクリエイティブな微調整のための強力なツールセットをあらゆる用途に提供します。さらに、GALAXYデバイスの改良されたDelay Integrationにより、1100-LFCと異なるMeyer Soundスピーカーを組み合わせることができます。



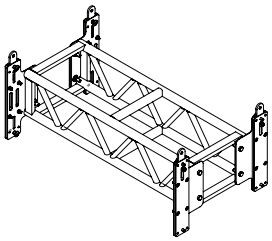
MRK-1100 Rigging Kit



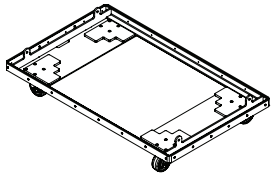
MTG-1100 Top Grid



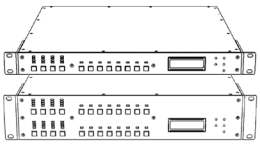
MVP Motor Vee Plate



MAS-1100 Array Spacer



MCF-1100 Caster Frame



Galileo GALAXY Network Platform

仕様

音響[1]	
動作周波数範囲[2]	28 Hz – 100 Hz
周波数特性[3]	30 Hz – 85 Hz ±4 dB
位相応答	34 Hz – 82 Hz ±30°
リニアピークSPL[4]	**140 dB、クレストファクター >9.5 dB（Mノイズ）**、140 dB（ピンクノイズ）、141 dB（Bノイズ）
指向角度	
	360° （1台）;台数や構成によって異ります
トランデューサー	
低域	18インチロングエクスカーションコーンドライバーx2；公称インピーダンス8Ω
オーディオ入力	
タイプ	タイプ差動式、電子バランスタイプ
最大同相範囲	±15 V DC, 過渡電圧保護のためにアース接続
コネクター[4]	XLR 5ピンメス入力、オスループ出力；XLR 3ピンメスコネクターはバランスオーディオのみ対応 （RMS信号は、ユーロブロックコネクタにて接続）
入力インピーダンス	2–3ピン間10 kΩ差
配線[5]	ピン1: 1kΩ、1000pF、15Vクランプネットワークを介したシャーシ/アースにより、オーディオ周波数での仮想グランドリフトを提供します。 ピン2: オーディオ信号 (+) ピン3: オーディオ信号 (–) ピン4: RMS ピン5: RMS ケース: アースグランド・シャーシ
公称入力感度	0 dBV（1.0 V rms）連続　通常ノイズ/オーディオ信号のリミッター開始ポイント
入力レベル	オーディオソースは、ラウドスピーカーの動作帯域幅で最大ピークSPLを生成するために、600Ωで+20dBV（10V rms）を生成することができる必要があります。
アンプ	
タイプ	2チャンネルコンプリメンタリーMOSFET出力段（AB/H級ブリッジ）
総出力電力[6]	8100 W (ピーク)
THD, IM, TIM	< 0.02%
冷却	超高速プライマリーファン×3、超高速リザーブファン×3
AC 電源	
コネクター	PowerCon32
自動電圧選択	208–235 V AC, 50/60 Hz
安全定格電圧範囲	208–235 V AC, 50/60 Hz
ターンオフとターンオン	165 V AC ターンオン; 264 V AC ターンオフ
消費電流	
アイドル電流	0.6 A rms (230 V AC)
連続消費電流 (>10 秒)	10.5 A rms (230 V AC)
バースト電流(<1 秒)[7]	18 A rms (230 V AC)
瞬間最大電流	53 A peak (230 V AC)
インラッシュ電流	< 30 A (ピーク)
RMS ネットワーク	
	2芯のツイストペアネットワークで、アンプのすべての動作パラメーターをシステムオペレーターのホストコンピュータに報告することができます。

仕様

外観	
サイズ(リギングなし)	幅: 52.60インチ (1336 mm) x 高さ: 20.48インチ (520 mm) x 奥行き: 33.00インチ(838 mm)
サイズ(リギングあり)	幅: 54.65インチ(1388 mm) x 高さ: 20.48インチ(520 mm) x 奥行き: 33.00インチ(838 mm)
重量(リギングなし)	249ポンド(112.9 kg)
重量(リギングあり)	285ポンド(129.3 kg)
エンクロージャー	高級多層カンバ材、わずかに質感のある黒色仕上げ
保護グリル	音響用ブラックメッシュ付きパウダーコーティング仕上げ、六角打ち抜きスチール
リギング	オプションのMRK-1100リギングキットは、キャプティブガイドリンクを0.5インチ×1.25インチのクイックリリースピンで固定し、グランドスタック、フライング、カーディオイド構成が可能です。

注釈

1. スピーカーシステムのカバレージとSPLの予測は、Meyer SoundのMAPPシステムデザインツールで利用できます。
2. 推奨最大動作周波数範囲です。応答は負荷条件と室内音響に依存します。
3. 半空間、4 m、1/3オクターブの周波数分解能をPinkノイズで測定。
4. **リニアピークSPL**は、1mを基準として4mの半空間で測定されます。ラウドスピーカーSPLコンプレッションは、リミッターの開始、2時間の継続、50度の周囲温度でMノイズを使用して測定して、2dB以下です。

   Mノイズは、スピーカーの音響性能をより良く測定するためにMeyer Sound社が開発した全帯域(10Hz～22.5kHz)のテスト信号です。オクターブバンドで一定の瞬間ピークレベルを持ち、周波数によって増加するクレストファクターを持ち、全帯域幅のピーク対RMS比は18dBです。クレストファクターに関して大なり小なり(>)の記号があるのは、EQやバウンダリーの負荷によって高くなる可能性があることを示しています。

   ピンクノイズは全帯域のテスト信号で、Peak/RMS比は12.5dBです。

   Bノイズは、最も一般的な入力スペクトルを再現する際のシステム動作を測定値に反映させるため、またピンクノイズを超えるヘッドルームがあることを確認するために使用するMeyer Soundのテスト信号です。
5. 4、5番ピン(RMS)のみ、バランスオーディオとRMS信号の両方に対応するXLR5ピンコネクタに付属しています。
6. ピークパワーは、アンプが公称負荷インピーダンスに生成する最大非クリップ電圧に基づきます。
7. AC電源ケーブルは、バースト電流実効値条件下で、ケーブル伝送損失によりラウドスピーカーの電圧が規定の動作範囲より低下しないよう、十分なゲージを使用する必要があります。

設計仕様

このスピーカーはセルフパワー型の、リニア、低歪みな低周波コントロールエレメントであり、フライング、グランドスタック構成が可能です。そのトランスデューサーは、18インチロングエクスカーションコーンドライバーが2台です。内部プロセッサーとコンプリメンタリMOSFET出力段を持つ2chのAB/H級アンプを内蔵します。保護回路には、TruPowerリミッターを含みます。オーディオ入力は、10kΩのインピーダンスで電子的にバランスされ、公称0dBV(1.0Vrms)信号(最大ピークSPLを生成するために+20dBV)を受け入れます。

オーディオコネクターは、5ピンXLR、メス及びオスで、オプションで3ピンXLRオーディオコネクターを用意します。

動作周波数範囲;28-100Hz、周波数特性;30-85Hz±4dB、4mの半空間でピンクノイズを用いて測定、1/3オクターブ周波数分解能;位相特性;34-82Hz±30度;リニアピークSPL;140dB、波高率9.5dB以上、1mを基準として、4mの半空間でMノイズを用いて測定。

内部電源は、EMIフィルタリング、ソフトカレントターンオン、サージサプレッションを行います。電源要件は、公称230V ACライン電流、50または60Hzです。UL および CE の動作電圧範囲は、208～235V AC です。バースト時の消費電流は、AC230Vで18A rmsです。ソフトターンオン時の突入電流は、AC230Vで30Aを超えません。AC電源コネクターは、PowerCon32です。スピーカーは、RMSリモートモニタリングシステムモジュールを含みます。

部品は、最適に調整された通気性のあるエンクロージャーに取り付けられ、高級な多層カンバ材で構成され、わずかに質感のある黒色仕上げで仕上げられています。

寸法は、幅 52.60インチ(1336mm)×高さ 20.48インチ(520mm)×奥行き 33.00インチ(838mm)です。オプションのリギングを使用した場合の寸法は、幅54.65インチ(1388mm)×高さ20.48インチ(520mm)×奥行き33.00インチ(838mm)です。重量は249ポンド(112.9kg)です。オプションのリギングを使用した場合の重量は、285ポンド(129.3kg)です。

ラウドスピーカーは、Meyer Sound 1100-LFCです。

Meyer Sound Laboratories, Inc.
2832 San Pablo Avenue
Berkeley, CA 94702

+1 510 486.1166
www.meyersound.com/contact
www.meyersound.com

1100-LFC
04.220.004.02 B3
Copyright © 2019. All Rights Reserved.

http://artwiz.jp
株式会社アートウィズ
〒134-0003 東京都江戸川区春江町5-11-2
Tel : 03-5667-9682

3K59 OR 3JK8 COMMERCIAL AUDIO SYSTEM
c UL us LISTED